



月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

新型コロナウイルス下での生活も3年目。徐々に以前のような日常に戻りつつある2022年でもありました。振り返ってみると今年も様々な新しいことに挑戦してきました。フットマークの1年をまとめてみました！

軽 ラクサックジュニアプラス新発売

小学生向けの「RAKUSACK JUNIOR」は子どもたちの成長に合わせた重さを感じにくいランドセル。低学年用と高学年用の2サイズで展開しています。今年発売したこの商品はかぶせフタを合皮にし、より従来のランドセルに近い見た目となっています。新1年生はもちろんサブバッグとしてなど、幅広い用途でご使用いただいています。



防 リコーダー用カバー多数採用

「音楽の時間にリコーダーの練習が出来なくて困っている」そんな先生の声から生まれた「リコーダー用カバー」は全国の学校から採用いただきました。より飛沫が外に出にくくするため、超撥水加工を施し、繰り返し洗濯もできる衛生面にも配慮しています。

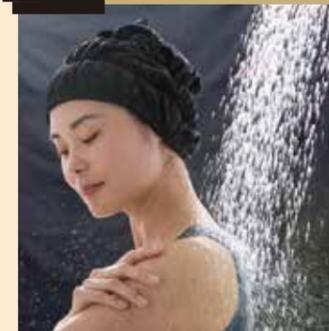


共 男女共用セパレート水着がメディアで話題となる

ジェンダーレス対応の「男女共用セパレート水着」が多数メディアで紹介されました。実は恥ずかしかった！自分もこれを着たかったなど、さまざまな声をいただきました。今年はテスト販売でしたが、来年のプール授業に向け、営業一同準備を進めています。個人販売もスタートする予定です。



問 ゆったりアクアキャップエア―注文殺到！



水中ウォーキング専用の水泳帽子「アクアキャップエア―」がメディアでご紹介され、多くのご注文をいただきました。本来の用途とは違う「シャワーキャップ」で試用したいというお客様からの問い合わせも多く、新たな使用用途を教えていただいた出来事でもありました。

柄 オーダーメイドサービス「水着柄100選」スタート



「水着柄100選」は、希望の上着の形・サイズ、100種類の柄から自分好みの水着をつくることのできる新たな水着の買い方です。必要な分だけつくるため在庫ゼロ、廃棄ゼロ、販売機会のロスが減るなどスイミングクラブ様、会員様双方にとってうれしいサービスです。

嬉 全国的にプール授業が再開



2022年は全国的に水泳授業が再開といううれしいニュースがありました。それに伴い例年以上に多くのご注文をいただき、御礼申し上げます。一方で予想を上回るご注文で商品が不足してしまう事態となり、改めてお詫び申し上げます。来年はお客様の期待にお応えできるよう、より一層の社内体制を整え臨んでまいります。

情 コーポレートサイトをリニューアル



10月にコーポレートサイトをリニューアルしました。ご利用される皆様にとって、より情報が探しやすいよう構成やデザインを全面的に刷新しました。また、よりフットマーク・商品のことを知っていただくためのコンテンツページを拡充いたしました。ぜひ今後ともご愛顧賜りますようお願いいたします。

映 BSテレ東「グロースの翼」に出演

BSテレ東「グロースの翼〜350万社の奮闘記〜」で取り上げていただきました。ものづくりで大事にしている「1/1 (いちぶんのいち)の視点」がテーマです。番組公式Youtubeでもご紹介いただいております。よろしければご覧ください。



公式 Youtube



特 特許を取得しました！

「プール用マスク」と「FOOTMARK BASEWEAR」で特許を取得いたしました。これからもお客様の声を聴き、さらなる独自性のあるものづくりに磨きをかけていきます。

新 全員ネタ出し会議スタート

77期(8/21〜)より全社協働目標として、週1回のアイデア出しを開始しました。すべての社員が対象で、月ごとに変わるテーマをもとに、アイデアを練ります。まず習慣化させることが大事ですが、ここから新商品が生まれてくるはずですよ。ご期待ください。

編集後記

毎年恒例「今年の漢字」が発表され、今年は「戦」でした。ウクライナ侵攻など一刻も早く終息してほしい戦いがある一方で、サッカーW杯での日本代表の躍進は熱い戦いでした。個人的には大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に夢中でした。いよいよ最終回も間近、ここに来るまでに様々な戦いがありました。どんな最後になるのか目が離せません。さて月刊フットマークも今年最後のお届けとなりました。来年も楽しい話題をお伝えしてまいります。今年も一年ありがとうございました。(吉河)

フットマーク株式会社
東京都墨田区緑 2-7-12
広報室
webmaster@footmark.co.jp

NEWS

学生との交流

大正大学 地域創生学部

実習授業の一環で、「フットマークの小さな博物館」の改善案を考え発表いただく機会がありました。墨田区他の企業ミュージアムへの訪問、そこで得た知識や経験を元にチームごとに発案。SNS活用方法やノベルティの提案もあり、大学生ならではのたくさんのアイディアに驚きました。

フットマークの小さな博物館▶



大正大学地域創生学部地域創生学科1年生のみなさん

両国高校附属両国中学校

3年ぶりに職場体験の受け入れを行いました。4名の生徒さんがものづくりについて学び、学校で実施してきたアンケートを元に商品開発を体験。最後には社員の前で発表をしました。真剣に取り組む姿や各自のタブレットをフル活用した完成度の高い発表は中学生とは思えない素敵なおもてなしでした。



屋上でスカイツリーの前で記念撮影

商品開発体験の様子

K A O R U の部屋 35



男女共用セパレート水着

W杯サッカーでの感動

TV「グロースの翼」に出演

三瓶 芳（さんべ かおる）
フットマーク代表取締役社長
1958年1月27日 島根県生まれ
1980年 駒澤大学卒業 2012年 社長就任

先日テレビの密着取材を受けました。私は人前で話すことが得意だと思われがちですが、実はこういう役目は大の苦手なのです。本当に緊張しましたが、特に悩んだのは素の私を伝えるシーン。何がいかと考えた結果、気づいたらカメラの前でメロンパンを食べていました。今更取り繕う必要もありません。おかげでありのままの私を伝えられた気がしています。

激動の1年をふりかえり

2022年もいよいよ年末を迎える時期となりました。ウクライナの戦争・安倍元首相事件・エネルギーの高騰・歴史的な為替の円安等、想像できないことが次々に起こった、激動の1年でした。そんな中でもオリンピックや大谷翔平選手・村上宗隆選手の活躍が世間を明るくしてくれたように思います。また、サッカーワールドカップのドイツ戦・スペイン戦には感動をいただきました。ラインを割るまであと1mmのボールにもあきらめない三笥薫選手のプレーが代表されるように、全員が同じ想いで一つのボールに向かっていく姿には、スポーツのすばらしさを感じます。

私たちもこの1年ただただ目の前にできることに全力で駆け抜けたような1年でした。3年越しに発売した新

商品「男女共用セパレート水着」はこれまでにない大反響でした。そして、コロナの波に翻弄されながらも、全国的にほとんどの学校で水泳授業が再開されたことは、本当に嬉しいことです。この間、自分たちのできる限りの力でご対応させていただきましたが、至らざるご迷惑をおかけした皆様には深くお詫び申し上げます。

今年も大変多くの方々に支えていただきこの年末を迎えることができました。深く御礼申し上げます。2023年に向けてまた新たな感動をお届けすべく全力をつくして取り組む所存です。今後ともよろしく願いいたします。

フットマーク株式会社 代表取締役社長
三瓶 芳

まちがいさがし 間違いが10個隠されています。さてどこに？



※答えは最終ページにあります イラスト/長縄キヌエ

今日はクリスマスイブ。通学カバン「ラクサック」を背負ったサンタさんがプレゼントを持ってきてくれました。早速開けてみよう～！さてさてプレゼントの中身は？？



RAKUSACK JUNIOR PLUS RAKUSACK PREMIUM

「RAKUSACK」は身体への負担を軽減する機能や工夫を追求した通学カバンシリーズ。用途や容量に応じてさまざまなモデルを展開しています。



Jaked ゴーグルケース

競泳水着「Jaked」

「Jaked」のレース水着はシンプルでカッコよく、練習用水着は派手で個性的な柄が特徴。スポーツアパレルも豊富で、お洒落なウェアが充実しています。

